八尾市時報

発行所　八尾市役所
編輯兼発行人　広報課長　富田八郎
印刷所　大阪市外琵琶町　秀文社
発行部数　18.000部
定価一部　五円

講堂と幼稚園が欲しい

安中地區　街頭公聴會終る

學校問題について

自振委主催の公聴会は今後月三回を目標に開催することになり、去る八月十一日水道問題をテーマに久宝寺地区農協前にて第一回目の公聴会を開催したことは前号時報にて掲載の通りであるが、当市安中地区に於ても八月二十五日夜半「学校問題について」と題し其地区自振委の肝入りで天神橋東の広場で第二回目の街頭公聴会を開催した

当日の出席者は黒川、中谷自振委正副会長、地元正副委員長、市会より高木又敬委員長、市役所より荻田教育、富田広報課長らとれに出席、先ず川内副委員長の司会により議長に柴谷地区委員長を選出、同氏より次の如き挨拶があった。

「現在われわれは選挙により市長を選び、議員も選んだ、しかしこれだけではわれわれの望むところが立派に市政に反映するに十分ではない、これは色々の事情もあるが現在の日本の民主主義は、云わば戦争に破れてアメリカより与えられたもので、決してアメリカやフランスのように市民の一人々々自らの力で獲ちとったものではないからである、この意味で将来の日本を背負ってたつ子供たちの教育はゆるがせに出来ぬ問題であり本公聴会に学校問題を採りあげた故でもあります、どうか日頃の市政に対するお考えを十分に反映していただきたい」

次いで黒川会長は「民事部の勧奨により設置された自振委の在り方をとくと考えていただき、又地方自治に対するより一層の関心をもち御協力をお願いしたい」と挨拶

次の質疑応答の後十一時半閉会し三三〇円、中学校で六七〇円となり、二十五年度の予算に小学校一人宛二四三円、中学校で三〇八円を増加計上したのでありますが、

（問）市当局は教育について一体何を考えていられるのか、現在の学校経営はPTAの力でやっているのではないか、安中小学校は生れて一、二年、教室、備品にしても他校に比し頗る貧弱である、なるほど庁舎を建て水道を引き暗渠の土木事業に金はかかるかも知れない、しかしPTAの負担も大変であり市の経済が貧しければ、我々の家庭も苦しい、今少しく次代を背負う子供の教育に対し関心を持って欲しい、又幼稚園にしても他地区にはあるが安中に設置しないのは何故であるか

（問）私は独身者であるが、将来子供の教育を考え、現在の安中校に是非とも雨天でも体操の出来るよう講堂―雨天体操場を作って欲しいことと、保健衛生の立場から排水設備の完備、又学習費料の整備をして欲しい。

（答）（教育課長）学校教育に対し皆さまの御協力いただき、又、立派な御意見に対し深く感謝します。

先ずPTAの経費が非常に高いとの御意見に対しまったく同感で、私達も非常に苦心しています。で現在のPTAの負担を全市の小学校について調査してみますと昭和二十四年度に於て小学校で平均三三〇円、中学校で六七〇円となり、二十五年度の予算に小学校一人宛二四三円、中学校で三〇八円帯に悪まれているとも考えられます。

市の予算も学校建築、資材の値上げ等により全部を使用する事が出来なくなり、又不就学児童に対する対策も昭和二十六年度は教育扶助費として一五八万円を計上している訳で非常に負担となっているわけです。

現在PTAの会費は小学校で三十円、中学校で五十円を徴収しているわけですが、過日も市費に当然支弁しなければならないものをPTAで賄っているものが五六%もあると市長に陳情があり私も驚いている仕末です、之については現在各学校のPTAの帳簿を拝見して具体的に調査を進めています

参考まで昭和廿五年度本市教育費の総計は九二九三万円でこの内訳は国家負担七二三万円、府負担四一〇〇万円、市負担三〇八一万円、でPTAの予算総額はこのうち約一割の八八九万円となっています。

次に幼稚園の設置についてですが現在六つの幼稚園があり龍華地区にはひとつ、これはまだ収容力があるのですが、亀井には民生課所管の保育所があります、これを他市―お隣りの布施市―人口も当市より二倍もあるに比べると市立としてはただ一つ、外に私立が二、三あるのみで、当八尾市は非常に悪まれているとも考えられます。

又安中校に教具、施設も貧弱と云うのお話ですが、之は全部の学校についても云われる問題で市の経費の許す範囲で出来る迄努力して整備したいと考えます、講堂の新設についても現在あるのはみな旧町村時代に作られたもので市が発足してからはどこにも作っていません、とりわけ教室の不足は言語に絶し山本小学校の場合など教員室もなく音楽室など二階廊下の片隅を利用している有様、僅かに大正校が二教室、西郡校が二、三教室に余裕あるのみです、安中校は八教室を増築して現在の十六教室とし、之を教員室と音楽室に各一教室、あとの十四教室に十四学級編制七一一名の児童と十八名の先生がいられるわけです。

従って来年度手をつけるところと云えば一番困っているところから始めると云う事になるわけですが大六三制建築には国家の補助があるとの噂が、講堂新設となると補助も起債も考慮しなければならない問題として、委員会でも常に考えているのです。

去る七月十八日より三日間北海道小樽市で全国の都市教育長会議が開かれた節半年も言うずまっている北国の学校の講堂兼雨天体操場の建設にさへ国家の補助金が得難いと云うことを聞き実に暗然たる気持になったのであります、加えて六三制の補正予算として文部省要求の八六億円すら本日の新聞によると五億円余となっています、こんな点から考えますれば公費による講堂の建設は今の状態では少し無理だと考えます。

講和会議を目前にひかえて日本は各国より非常な関心をもたれている、これはどう云う理由によるのでせうか、それは日本にある資源でもなく、国土の広さでもなく、勿論金の多いことでもないでせうか、今夕はまことに皆さまの力強い御意見を承り感謝致しまして茲に八尾市の教育の現状をありのままに申上げました次第です、ありがとうございました。

（高木文教委員長）

当市の学校教育については教育課の誤りで、委員会でも常に思へません。

（問）仲町風呂屋（霧島湯）の排水が樋の溝に入り、開所がつまっているので非常に不衛生である。

（問）省線の八尾駅より南ふみきり間の道路を雨天の日でもせめて高下駄で歩けるようにして欲しい

（答）（川井土木課員）

課長、係長出張不在のため責任のある解答は出来かねますが早速課長に連絡善処します。

（問）安中地区に住んでい乍遠い龍華小学校に通学している、これは個人の自由にして貰いたい。

（答）（教育課長）

現在どの学校も一杯で通学区域の整理については充分考えていますので今直ぐお返事出来かねます。

母子寮　保育所　事業開始

当市西郷一番地に完成の西郷母子寮（定員八世帯）及保育所（定員六十名）では入居申込者の詮衡を終り去る一日より事業開始、開所式は本月中旬に行うことになったなほ入居者は母子寮六世帯、保育所五三名で、母子寮長には小松民生課長、主任に中村のぶさん（旧広報課勤務）保育所長心得には梶本セイさん（旧西部保育所勤務）が就任された

人事異動

事務員　西田　文雄（依願解職（七月二十日付））
事務員　岩田　亀吉（依願解職（八月三十日付））
事務員　川口　栗一（依願解職（八月三十日付））
任公安委員　中川　孝一（以上七月三十一日付）
依願免職　書記　沢田　隆治
税務課勤務を命ず　書記　田代　富太郎
徴税課勤務を命ず　書記　渡野　員次
農務課勤務を命ず　事務員　西岡　春子
総務課勤務を命ず　事務員　森田　シズエ
民生課勤務を命ず　書記補　福田　澄子
依願解職（八月十日付）　看護婦　金井　正一
依願解職（以上八月一日付）　事務員　辻村　美恵子
依願解職（八月十三日付）　書記　安藤　知子
依願解職（以上八月十四日付）　書記補　石田　一雄
依願解職　民生課長兼保々長兼務を命ず　小松　正雄
西郷母子寮主任を命ず　書記　中村　ノブ
西郷保育所長心得を命ず　保姆　梶本　セイ
西郷母子寮勤務を命ず　保姆　加藤　鶴子
西郷保育所勤務を命ず　事務員　西川　とし子
依願解職（以上八月十五日付）　看護婦　足立　静子
依願解職（八月十六日付）　技術員　津田　卯
依願解職（八月二十九日付）　事務員　田畑　貞子
（八月三十日付）

要望に対する回答

▲八尾第一地区（6月21日）

一、地区委員に掲示板三ケ宛設置＝三五二ケ八月中旬発注済）

二、旧行政委員の門標を撤収し自振委員の門標とする＝回収のもの（約八〇ケ）は書替中につき、未送付のものは至急広報課まで（以上広報課）

▲山本地区（6月22日）

一、固定資産税の評価を適正＝地方税のうちでも時価の評価という困難性からその適正を期すべく評価員が設置されたし（税務課）

二、玉串川の清掃実施＝当川は築留水利組合の管理にする用水路でその浚渫は同組合により行うことになっているが本年度は当課にて地元請負の形式で建物の立っている個所を工事することになっています）（衛生課）

三、道路溝蓋の補修＝大半は私道で重要路のみでも早速補修したいと考え、集水桝の蓋も八月末日までには完成の予定）（土木課）

四、汲取桶の撤去＝七月二十五日撤去、埋立も終了（衛生課）

五、水道の送水促進＝送水能力の拡張と配水管の増設、改良に工事を一部変更して、本年度には竣工の予定です、なお永年低圧のため給水管等閉塞しているところがありましたら連絡下さい（水道課）

六、市民簿の調製＝近く配布の予定ですから世帯主は二通申告して下さい（商工課）

▲植松地区（6月13日）

一、番地入り地図の作製＝税務課にて作製中で完成次第配布します（広報課）

二、提燈と腕章を作れ＝予算の関係もあり委員長会議で否決（広報課）

三、委員宛掲示板を作れ＝八尾第一地区同答参照（広報課）

四、市民病院に眼科を＝近き将来に併設の予定（市民病院）

五、十四区の暗渠の修理＝破損個所はなく、通水をよくせよとの意味と思い善処しますがこの水路を浚渫しても排水は八尾全地区の下水道が解消しない限り現状では難しいと思います（土木課）

▲竹渕地区（6月24日）

一、平野川改修促進＝左右岸の管轄が異なるため改修は望めませんが、府費支弁のものは解消出来ると思います（土木課）

二、道路改修＝現在の市財政では不可能で一部補修、砂利撒布は近々着手の予定です（土木課）

三、倒壊寸前の家屋調査＝警察消防にて調査に着手していると思います（土木課）

▲西郡地区（6月28日）

一、委員宛掲示板設置＝八尾一地区一項参照（広報課）

二、下水掻上げの泥土撤去置ち方に撤去しました（衛生課）

▲安中地区（6月30日）

一、通水をよくし、完全消毒せよ＝家庭排水は各自で、やり難いところは調査の上実施します、又消毒は相当量の薬剤を水溜り、下水溝に撒布しています（衛生課）

二、土木費の内訳＝道路橋梁費（六二五万）、治水堤防費（一八万五）、用悪水路費（六〇万）、災害復旧費（三六万）都市計画費（六四八万五）土木諸費（五〇万）計一四三八万円（土木課）

三、PTAと市教育費の関係明示＝安中公聴会記事参照（広報課）

四、町簿を作製せよ＝山本地区参照（商工課）

▲八尾第三地区（7月6日）

一、納税者に傷害＝前納者には報償金を、納税組合員の方には補助金を交付しています（税務課）

二、固定資産評価補助員に地区民を選べ＝各出張所別で地元で議員、地区自振委員長の協議により三名選出しました（税務課）

三、電話番号の統一＝庁舎完成を期に電話局と交渉、近く一〇〇〇―四番に切換えられる予定です（土木課）

四、下水調査と掃除＝現在五ケ班二十名で全区を巡回していますが家庭排水は各自でお願いします（衛生課）

五、帳出入者の証明用紙を作れ＝人口異動通知書を委員に送付連絡します（商工課）

▲山本地区（7月6日）

三、水道料金値上げの聴聞会を開ケ＝何とかして皆様の諒解を得たいと思います（水道課）

（註・一、二、四、項の要望は六月二十二日開催の委員会記事参照）

▲久宝寺地区（7月9日）

一、市民簿の至急作製＝山本、安中地区解答参照（広報課）

二、帳出入は必ず出張所より通知ありたし＝連絡あり次第通知します（出張所）

三、委員に掲示板を＝八尾第一、第二、西郡地区解答参照（広報課）

四、公聴会の開催＝日時、議題等決定通知あり次第開催させていただきます（広報課）

人口遂に七萬を突破

世帯數一五八九七

旧五ケ町村を合併して昭和二十三年四月一日、八尾市が誕生して以来三年四ケ月、人口は遂に七万台を突破、これを市制発足当時の人口に比べると男三二六九名、女三三一九名、世帯数に於ては実に一三五七世帯の増加となってきた因に市発足当時の人口（世帯数）及年度別の増加は次の通りで躍進八尾市の面目を如実に物語っている

○昭和二十三年四月一日（市発足時）人口六四四三一名＝男三〇九二七、女三三五〇四、世帯数一四五四〇

○昭和二十四年、人口六五九三四名＝男三二〇〇九、女三三九二五、世帯数一四八二五

○昭和二十五年十月一日（国勢調査）人口六六六九四名＝男三三一六九、女三四五二五、世帯数一四七九六

○昭和二十六年八月十五日人口七〇〇三二名＝男三四一九六、女三五八三六、世帯数一五八九七

市の活動

市会事務局

△八月十八日　総務委員会
国有財産払下に関する件
△八月二十二日　文教委員会
一、学校給食に対する見通しに伴う給食施設拡充予定の変更に関する件
二、久宝寺小学校旧平屋建校舎の処置に関する件
三、大正中学校建設について
△八月二十二日　建設委員会
砂利採取場視察に関する件
△八月二十四日　市政刷新委員会
△八月三十一日　文教委員会
公聴会開催に関する件
△八月三十一日　建設委員会
砂利採取場に関する件

時報に関する 記事はこのままでよい

但時期的なズレをなくせ

世論調査集計（一）

市民と市政を直結するために毎月二回宛発行されている「八尾市時報」は果して市民にどのように親しまれているか、その信頼の度合いを計つて、今後の「時報」をよりよくせんがために去る七月末左記調査カードを一、四〇〇通、官製はがきに印刷その対象を八尾市選挙人名簿により二十二人目の人を選び記入返信方を要請したところ、発送数三百二十七通（約二割四分）の回答があつた。先づ項目別にその結果をみると

一、毎月五日、二十日に発行の「八尾市時報」はお手元に配付されていますか

△されている（二五四通）△されていない（一〇〇〃）△月一回位（三四〃）△たまに入る（二一〃）△記入なし（八〃）

以上の通り「されている」が（七八％）で絶対的に多い、「月一回位」、「たまに入る」は共に配付されているが、家の中で紛失されたのでないか又「されていない」というのはたまにはいらない程度のものではなかろうか

二、発行日より幾日程遅れて配付されますか

△おくれない（二七通）△三日以内にくる（八四〃）△五日以内にくる（五九〃）△一週間以内にくる（八五〃）△十日以上遅れる（五五〃）△記入のないもの（一七〃）

広報課ではなるべく発行当日直ちに配付出来るように努めてはいるが、何分一週二日の電休日や印刷所の都合で思うようにゆかず発行日より一日＝三日位遅れることは申訳けなく思つています

以前は一週間位遅れることもありましたが去る六月誕生の自治振興委員さんのお骨折でだんだんなくなり今後はこの配付につき一層努力し、お叱言のないように致したいと思います

三、配付された時報は読んでいますか

△薬んで読んでいる（七七通）△読んでいる（二一七〃）△読んでいない（五〃）△たまに読む（二八〃）△記入なし（一〇〃）

時報を「薬んで読む」「読んでいる」との答が全体の九〇％もあり「読まない」ものがわずか全体の二％、まず市民から愛され、読まれているということになり市としては実にうれしいことで今後もますます努力して市民のためになるよう念願しています

四、記事の中で何を一番楽しみにして読んでいますか

△市民の声欄（一四五通）△市政欄（一七一〃）△学校巡り欄（五九〃）△市場価格調査欄（三二〃）その他（三八〃）△記入なし（三三〃）

読まれているものの最高は五一％の「市政欄」であることは、こちらの意図するところと合致していてうれしく、「市民の声」もとどらぬ興味をもつて読まれていることは有難い次第で、皆様の声は回答をつけて発表いたしますから、どうぞ充分御利用いただくよう常に真面目な、建設的な意見を

ドシドシ寄せられるよう要望いたします、

但し投書には「無名」又は「偽名」あり折角回答を差上げても返却されますので紙上実名はかまいませんが必ず本名で住所氏名を明記して下さい、（なおこの（四）の回答に限り一通に二箇所○をつけられていたのがありましたので歩合の基本としては三二七を主にして計算しました）

五、記事内容はこれでよいか

△よい（九二通）△ややよい（一六七〃）△悪い（三一〃）△わからない（一八〃）△記入なし（一八〃）

「よい」と「ややよい」を合せると約八〇％となり充分記事内容を読んでいただいているということに嬉しく思います、「悪い」というのは僅かありますが、これは記事の書き方が悪いのか、読みにくいのかこれを一日も早く「よい」方に向けるよう努力し、又わからない人にわかるよう工夫しなくてはならないと思つております

六、悪いのは如何なるところか

△時期的にずれがある（一一三通）△記事がかたい（八八〃）△其の他（二五〃）△わからない（一〇〃）△記入なし（九九〃）

この問は広報課として実に痛いところでありまして、時期的にずれがあつて市民への報告が遅れることは私共としても認めていますが記事がかたいという点は紙面の都合で普通日刊新聞のような行き方が出来ず、加えて編集の不手際もあり柔か味を出し得ず誠に申訳ないことと思い今後は出来得る限りわかりやすく、読みやすく、又やわらかみのある文章で書くよう努力いたしたいと思います

七、記事内容及編集について感じたこと

これについては「良い」「市会の内容を記せ」が各七通、「もつと範囲を広く」「市民の声を活用せよ」が各五通「もう少しやわらかく」「よろしい頑張れ」などのほめられたのが合計十一通で「事務的形式的である」などのお叱りをうけたもの十一通、建設的な意見が九〇通、記入のないものが一七七通、全体からみて建設的な好意的な意見の多いのをうれしく思います（次号に續く）

公聴会開催

一、日時　九月十日午後二時
一、〃　大正小学校
一、〃　九月十一日〃　龍華小学校
一、議題　市立第二中學校建設について

主催　市会文教委員会

学校めぐり

大正中学校の巻（10）

本校は旧大正飛行場の隣接地大正住宅の中にあり、二棟六教室職員十名生徒三百名の小世帯でこじんまりとした落着のある学校である。

昭和廿二年四月六三制実施にともない一ケ年は、大正小学校に同居を止むなくされたが、現岡田校長は初代校長として、当時インフレによる教員志望者がすくない折柄であつたが、日夜寝食を忘れて奔走した甲斐があつて現在の如き優秀な教員を得られたということである。

この校舎は昭和二十四年四月旧飛行場の建物であつたのを借用改造し現在の地に移転建設してもらつたものであるが簡単な改造であるため、広い部屋はとても広いし、狭い部屋は二間半に四間という手狭で生徒の收容にも一苦労されるようである。特にドアーが内側にあるため誠に開け閉めに不自由でもある。校庭も非常に狭く、精々キャッチボールが出来る程度で見ていても本当に気の毒である。しかし生徒は案外明らかにこの狭い校庭で嬉々として遊んでいる。同校は上級学校進学者が卒業生の約三割で中心部の中学校からみるとその数は大変少ない。

そこで教育方針も他校以上に職業教育特に科学教育に重点を置いているようだが、何をいつても設備も不完全で、特別教室もない。それがため手近かな生活を科学的にするよう、まず無駄を除き、それと併行して躾の教育も科学的に特に強調してやつているようである。クラブ活動も運動部、文化部、科学部、洋裁部、放送部にわかれ、特に科学部員は絶対多数で大半は男生徒であるが、放送部員とタイアップして、ラヂオの組立をやり、又電気アイロン、電気バリカン等を歳暮より持参して熱心に研究している

文化部も又月一回謄写版印刷で「大正しんせい」を発行し、作文や紙上座談会、討論会などと相当活発にやつている、運動部員は校庭の関係で大和川の河原で野球をやる位が関の山のようだ。

然し特にうれしいことはPTAの中川宰次会長氏は生徒と共に野球もやれば、バスケットボールもやり、運動具の修繕もやつてくれるし時には大工道具を持参して校舎の修理もしてくれるという奇特な方で真にPTAの精神を自ら体得している得難い人で生徒たちも、心易く「おやぢ」と呼んで親しんでいる。

去る七月二十一日市長とBK放送記者の対談にも大正中学校の問題をとりあげ、「是非共本年度中に新築する予定である」とあつたが、年度内には立派な校舎も新築されて、現在の苦労も昔話としてよき思い出となることであろう。一日も早く校舎が新築され、その暁校長先生はじめ生徒たちが晴やかな顔で授業の出来るさまを、胸に描きながら校門を辞した。（S記）

校長　岡田

踊り地蔵

河内名物盆踊り

当市西郷にある臨済宗南禅寺派に属する常光寺は本尊が地蔵菩薩であるところから、寺名よりも八尾地蔵という方が一般に知れ目り日本の三大地蔵の一つと数えられている。そして例年八月二十四日の大施餓鬼会の当日境内で行はれる地蔵踊と称する大盆踊は河内の名物となつている

（写真は去る廿四日の地蔵踊り）

食物からも傳染

一週間前後に兆候

小児マヒの症状と豫防

大阪市衛生局の調べによると昭和二十四年の三十名の発病に対して昨年は白五十名に増加し、しかも今年は更に増加する傾向があり、とくにこの病気は可愛い盛りの幼児が一番多く大阪市一一二三人の患者の中八六％までが四才までの幼児で五月からだん〳〵多くなり八月には頂点に達するかも知れないとの事でした。

小児麻痺とは過性病源体による伝染病で鼻や口から入ることによつて起るといわれていましたが、近頃は腸からも食物を通して入るといわれます。その病状は、熱かせなくなるわけである。この麻痺が、やつてくる場合もある。いづれにしても、麻痺は弛緩性麻痺と、いつて、下肢又は上肢がぶらんと力が抜けて、自分の思うように動

発熱して三十八、九度の高熱が一日か二日位続き、その間は風邪や胃腸障害のような病状を呈し、ときに四肢に疼痛を訴うることもあるが、要するにこの時期には個有の病状がない。二、三日の後に下熱するが、それと同時に上肢や下肢の麻痺があらわれ、この麻痺を認めて初めて診断がつくわけである。尤もなかには発熱なしに麻痺が来ることもあり、この麻痺は知覚障害を伴わないことも、診断の大きな助けとなる。

麻痺の部位は下肢にくる場合が約三分の二で、一脚が侵されることが最も多く、次いで両脚の順である。ときには一上肢だけ侵される場合、或は又上肢、下肢ともに麻痺は軽重種々様々で、軽いものは一、二カ月で完全に回復するが、最も重い場合には一生歩行不能に陥るよう危例もあつて、その間に種々な重重の段階があるわけである（不も小児麻痺は麻痺そのもの

間防予病性週間（1—7日）

今年もまた九月一日から一週間全国的に性病予防週間が行われます。

性病は戦後一時激増を心配されたが、強力な対策のおかげか、近年だんだんと減つて来ました。

しかし、国民全部が協力してさらに努力すればこの不愉快な病気を駆逐することも可能なわけです。

▽性病はこれを持つている人からうつるのであるが、これらの人は売笑婦はもちろんであるが一般人の中でも、性病にかかつているのを知つていながら平気で人にうつす人、素人療法や不完全治療をして自分では癒つたつもりで実は治つていない人、かかつても全然気がつかないで人にうつす人達などがいて、第三第三の人が一番危険な伝染者となつていますので。これらの人を早く見つけて完全に治療することが大切であります

▽ところでこのわかりきつたことがなかなか実行されずとりわけ一番おそろしいのは売笑婦で日本では男子の七割は売笑婦から感染しているといわれています

もし、不注意にして性病に罹つたら、すぐ専門医に完全に治してもらい、家族や他人にうつさないだけの注意をすれば、性病はたちまち減少してゆでせう。

▽性病を確実になくすることは、人々の協力さえあればできることで、そして、皆さんの收める税金も、他のもつと建設的なところへ使うことができるわけです。

税金の行方

日本人は税金を納めるときはやかましいが、納税後はさつぱりしている。外人は納税のときはあつさりしているが納税後はやかましいといわれています。

夏休みも終りに近づいてからのことです小学校のよい子たちが、学習帳を片手に、税金はなにに使われるのか聞きに、二、三人づつ何組かが、税務課をたづねて来ました。こうして税金はなにに使われるのかを尋ねに来られることは、今までは、ほんとうにめづらしいことです。

色々の資料によつて課税しても、やれ高い、いや適正でない、他と均衡がとれていないなどと仲々文句が多く、課へ来られるのは大概こういつた人たちです。

そうして、その位やかましく云つていながら、さて納税をすますと後はその税がどんな方面に使われどういう風に自分達のために役立つて使われているかを見ようという人が殆んどありません。

こんなことでどうして市民が民主化されていると云えるでしょうか自分の納める税金が、どういう目的で使われているかを知り、議会にまかせにせず、小学生のような熱心さで、税金の行方について、もつと深く知つていただきたいものです。

遺家族の實態調査

九月十五日まで

民生課では現在大阪府遺族援護協議会の申出により昭和六年九月以降の戦没軍人、軍属遺族の生活実態調査をしています。

この調査の目的は遺族の方々の色々の方策をたてるために調査員が遺族の家庭を訪問し調査表をお渡し説明する訳ですが、もし調査漏れがありましたら地区の民生委員か、調査員まで申し出ていただくよう要望しています。

公民館だより

青年弁論大會開く

—申込は九月十七日—

来る九月二十三日（日）午後一時より八尾市立公民館で、同館主催左の要項により青年弁論大会が行われる

一、演題　自由（但し占領政策に関するもの、政治目的をもつもの、社会風教を害するものは除く）
二、弁論時間　一人七分以内
三、入賞　五等まで
四、申込受付　九月十七日まで
五、抽せん会　順位決定のため申込者は九月十七日（月）午後七時三十分まで公民館に集合の事

尚お詳細は公民館まで

ニセ獣医師に御注意

六月五日付当時報でお知らせいたしました二セ獣医師のことですが最近当市安中方面で「大阪府指定獣医師杉生一」と称して狂犬病の予防注射をして廻つた事実があります

当市では予防注射を実施するときは必らず事前に公示をいたしますもし右のような者が皆さんのお宅を訪問したときは、すぐに左記え御連絡下さい

市衛生課　電話八尾五九・一四〇・七一五
〃　八六〇
市書記

府農委に森岡氏當選

府下八地区に於て行われた府農業委員選挙は去る二十一日、投票率九割九分という好成績で終了、定数十五名に対し立候補四十名、中河内地区（定数二名）より立候補の当市中野森岡安次郎氏は地区のトップで当選された。